

市長（作野広昭君）

公共施設の統廃合につきましては、大変今後、逼迫する財政状況等々を説明させていただいております。市民の皆さん方にもよく理解ができて、また浸透してきたのではないかと考えております。

ただ、個々の施設、ましてやみずからが利用している施設とか、近くにある施設とかになると、これまた別な話という考え方になり得るわけであります。そうしますと、全部の施設がだれかが利用して、だれかが近くにおいでになるということになります。

それで、どの基準をもって、じゃそれがどうなのかということになりますと、例えば物事をやるのに必ず1割、2割、何%かの反対があります。国会でもそうです。しかしながら、世論が二分しようと、決めるときには決めていかないと、だれかが決めないと、何かの基準で決めないと、物事が決まらないわけがあります。決まらないということは現状維持でいくということで、大局観で言いますと、白山市の財政がもたないということは、皆さんも御存じのとおりであります。

よって、今決めていかなければいけないということでもありますから、皆さんの意見は真摯にお聞きし、そしてまた全体をまずわかっている中において、でも自分の既得権でいやだと、これではなかなかいかない。そういうことも理解していただくしかない、こんなふうに思っております。